

工建たより 2022年 水無月号



あっという間に6月です！
寒暖差が激しいので体調を崩さないように気を付けましょうね。

さて、今月の工建たよりは前回ご紹介できなかった三重郡菰野町・テラス壁工事と引き続き四日市市蔵町・鉄骨改修工事、四日市市芝田・WB新築工事の模様をご紹介します。
どうぞご覧くださいーい(^o^)/

三重郡菰野町 テラス壁工事



テラス壁の設置工事をご依頼いただきました。
カーテンタイプのものが取り付けてありましたが、経年劣化で傷んできている状態でした。
今回はカーテンタイプのものと取り替えるのではなく、ポリカーボネートで壁を造りました。



≪ テラス壁設置工事 ≫



カーテンタイプのものが取り付けてありました。
全景写真を撮り忘れしました…(^_~)

既存のカーテンを撤去し、下地桟を取り付けてからポリカ板を貼っていきます。

完成です！ 綺麗に仕上がりました(^_~)v

四日市市蔵町 鉄骨改修工事



着々と工事が進んでおります。
屋内の解体撤去後、ガランとしていた空間に床が造られ、間仕切り壁が出来上がり住みいらしくなってきました。
職人さん達は毎日頑張ってます！



≪ 大工工事① ≫



根太の取り付けが終わり、工場で加工された床の断熱材がドーンと運び込まれました。

根太の間に1枚ずつはめ込み、床板下地を貼っていきます。



次ページへ
続きます～♪



四日市市蔵町 鉄骨改修工事

《 電気工事① 》

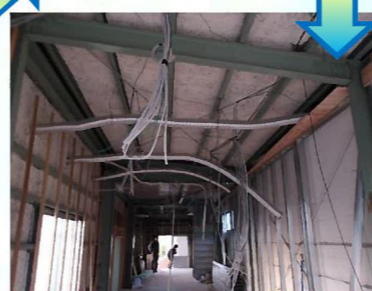
大工事と並行して電気工事
も進めます。
ダクトの設置位置や配線を図
面で確認します。



換気口を設置する場所に
穴を開け、カバーを取り付け
ます。



ダクト管が取り付けられ、
電気の配線が行われて
いきます。



雨にまつわる豆知識



『雨模様』って？

すでに雨が降っていることを言うのか、それともこれから雨が
降りそうなことを言うのか、どちらのことを言っているのか知
っていますか？

『雨模様』とは”今にも雨が降り出しそう”という意味の言葉で
まだ雨が降っていない状態を表しているそうです。

恥ずかしながら私は、すでに雨が降っていることを表す言葉
だと思っていました^^;

普段何気に使っている言葉でしたが、
改めて正しい言葉の意味を知りました。

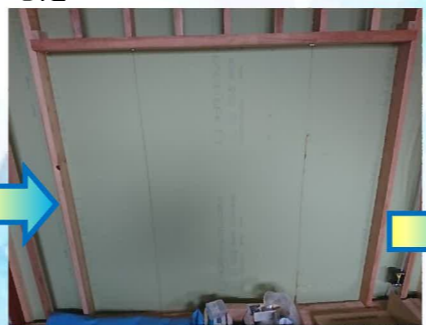


《 大工工事② 》



壁に間柱を設置していきます。今回の工事では木材と軽量材のMIX下地を採用しました。
既設のCチャン壁には木材を、ブロック壁で留められない壁には軽量スタッドで設置しました。

3枚建ての引違い戸があった場所に2枚建ての掃き出し窓を新たに
設置するので、壁を造り、屋外側の面には透湿防水シートを貼りま
した。



壁の断熱材が搬入されました。
スゴイ量です…(°o°)

梱包を解いて、間柱の間にすき間
なく、キッチリ充填していきます。



断熱材を充填して天井下地材を貼っていきます。

天井の下地を軽量材で組んでいきます。

断熱材がキッチリ納まりました！

《 ユニットバス設置工事 》



ユニットバスの部材を運び込み、組み上げていきます。



床が組み立てられ、浴槽が設置され、壁を組み立て、換気暖房乾燥機やシャワーなどの備品を取り付けていきます。

ユニットバスの設置完了です！全ての工事が完了する
までキズや汚れが付かないように養生をしておきます。

次ページへ続きます♪

四日市市蔵町 鉄骨改修工事



≪ 電気工事② ≫



ユニットバスに取り付けた換気暖房乾燥機に電気配線をつなげます。

照明器具の開口やコンセントやスイッチなどを配線していきます。



≪ 大工工事③ ≫

新規窓サッシを取り付けます。



開口部を加工し、サッシ枠にコーキングを塗布して取り付けます。

枠を固定し、障子部分のガラス戸を取り付けます。

片引戸の玄関枠を取り付け、透湿防水シートを貼って外壁下地の棧を取り付けます。



床板貼りに取り掛かります。隙間風対策で、床下地と壁下地の境目に気密テープを貼ります。

桧の無垢板を貼っていきます。

汚れやキズが付かないように貼り終わったところから養生板を貼っておきます。

四日市市芝田 WB新築工事



工事が着々と進んでいます。
外構工事から基礎工事までの模様をご紹介します！

≪ 外構工事 ≫



砕石を打設し、型枠と配筋を組んでいきます。

生コンを打設していきます。

基礎ベース部分が乾いたら、ブロックを積んでいきます。



ブロック積み完了後、敷地の埋め戻しと均しをして外構工事完了です！



四日市市芝田 WB新築工事



≪ 地盤調査 ≫



地盤調査用の地縄張りを行います。



地盤測定器が運び込まれ、いくつかのポイントに移動しながら地盤の状態を調べていきます。



調査結果を持ち帰り解析し、地盤改良が必要か、不要かの判定結果を出してもらいます。

≪ 地盤改良工事 ≫

地盤調査の結果、改良工事が必要との判定結果が出ましたので、改良工事を行います。以前から採用していた砕石パイル工法ですが、今回から振動打設による工法から圧縮締め付けによるエコジオ工法を採用しました。現場に重機が搬入され、改良工事の準備が進められます。



砕石杭を打つ場所にし印が付けられています。



重機が設置され、砕石を柱状に地中に締め固めながら詰め込みます。今回の工事では50本の砕石杭を打ってもらいます。



≪ 基礎工事① ≫



基礎工事に取り掛かります！まずは丁張から～建物を建てる位置を決める重要な作業です。

丁張が済んだら掘削と鋤取り作業を行い、敷地を均していきます。



基礎工事②
へ続きます

砕石を敷設し、転圧機で締め固めます。

≪ 基礎工事② ≫



生コンで基礎ベース部分の打設を行います。



生コンが乾いたら型枠を組み、配筋を組んでいきます。



配筋組完了です！
第三者検査機関の検査員の基礎配筋検査を受ける前に弊社建築士が図面を基に自主検査を行います。



今回はここまで～次号をお楽しみに！

～ 新築・リフォーム・外壁の塗り替え・水まわり改修・外構などをご検討されている皆様、お気軽にお問い合わせください！ ～



059-321-4018



<https://m-kouken.com>

